

第12回 ユネスコ記念能

競演「年代別」「相舞」二つのテーマでおくる 各流立合公演



平成 26年 11月 27日(木) 【昼の部】開演 14時(開場 13時) 【夜の部】開演 19時(開場 18時)

宝生能楽堂 東京都文京区本郷 1-5-9

主催 公益社団法人能楽協会



助成:文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 助成:私的録音補償金管理協会(sarah)

第12回 ユネスコ記念能

能楽は六百年余りの間、時代時代の役者によって守られ磨かれてきました。そして平成13年、ユネスコにおいて、第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受けました。この貴重な財産を後世に伝える為に本公演を開催し、この度12回目を迎えます。今回の試みは、昼の部では「年代別競演」として各年代の演者に邯鄲を、夜の部では「相舞競演」として中堅演者による相舞の曲を上演致します。新しい企画のユネスコ記念能を是非お楽しみ下さい。

日時 平成 26年 11月 27日(木)

【昼の部】開演 14時(開場 13時) 【夜の部】開演 19時(開場 18時)

会場 宝生能楽堂

入場料金(全席指定)

通し券 (昼の部・夜の部セット)	各部券
S席 10,000円	S席 6,000円
A席 8,500円	A席 5,000円
B席 7,000円	B席 4,000円
	学生席 2,000円

※26歳以下(当日要学生証提示)

切符取扱 平成 26年 8月 22日(金) 午前 10時より発売開始

<11月24日(月・祝)まで取扱い>

- 宝生能楽堂 03-3811-4843 (有人対応) [火~日 10:00-17:00] / 窓口販売
- チケットぴあ★ 0570-02-9999 [Pコード: 437-062]
ぴあ全国各店舗 サークルK・サンクス/セブン-イレブン

<11月20日(木)まで取扱い>

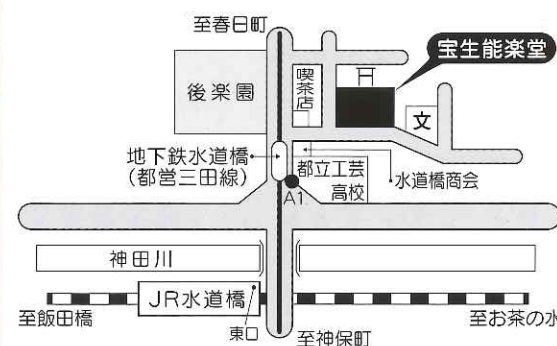
- チケットスペース 03-3234-9999 (有人対応) [月~土 10:00-12:00/13:00-18:00]
- カンフェティ★ 0120-240-540 (有人対応) [平日 10:00-18:00]

★印: ネット販売あり

障害者割引あり... 詳細は能楽協会 (03-5925-3871) までお問合せ下さい。

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。但し、販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承下さい。詳しくは能楽協会へお問合せ下さい。

※場内での撮影、録音、録画は固くお断り致します。
※場内でのアラーム及び携帯電話の電源はお切り下さいようお願い申し上げます。
※出演者は都合により変更させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。
※開場前のご来館につきましては、能楽堂館外にてお待ち頂くこととなりますのでご承知お下さい。



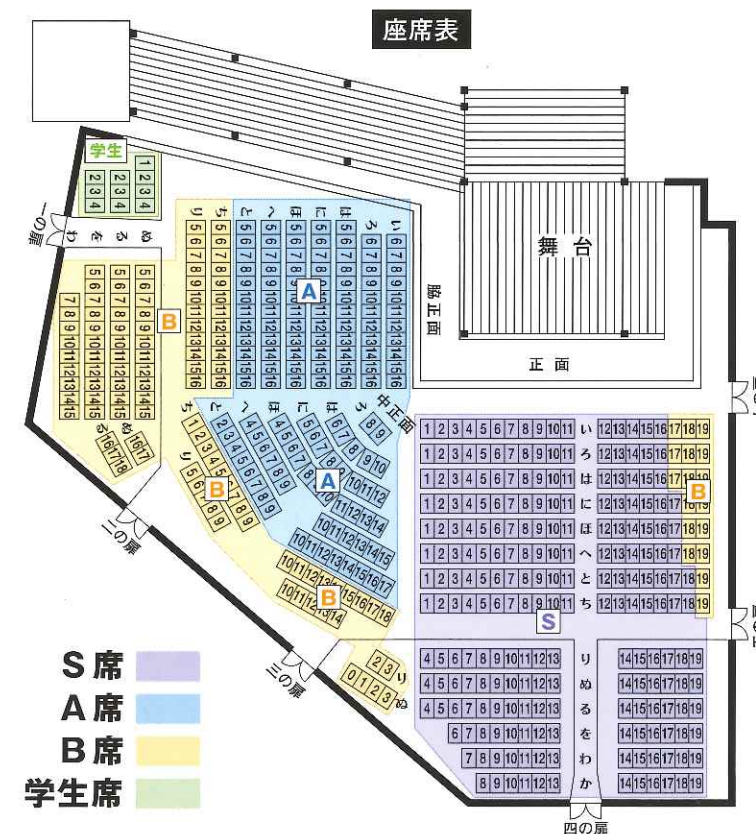
宝生能楽堂

東京都文京区本郷 1-5-9

TEL 03-3811-4843

【交通】JR水道橋(東口) 徒歩3分
地下鉄都営三田線
水道橋駅(A1出口) 徒歩1分

※駐車場がございませんので、お車のご来場はご遠慮下さい。



主催・問合せ: 公益社団法人能楽協会 TEL 03-5925-3871 <http://www.nohgaku.or.jp>

※能楽協会では、チケットの販売を致しておりません為、上記取扱所にてお求め下さいますようお願い申し上げます。

昼の部 年代別競演

(開演 十四時)

解説 井上 貴覚

仕舞 (宝生流)

高橋 憲正

仕舞 (金剛流)

廣田 幸稔

仕舞 (喜多流)

塩津 哲生

仕舞 (観世流)

野村 四郎

地謡

渡邊 茂人
金井 雄資
大友 順

地謡

澤田 宏司
豊嶋 晃嗣
廣田 泰能
種田 道一
工藤 寛

地謡

内田 成信
中村 邦生
香川 靖嗣
金子敬一郎

地謡

坂 真太郎
伊藤 嘉章
観世 喜正
坂井 音隆

「昼の部」

上演形式の説明

「仕舞」しまい
能一曲の特定部分を地謡により一人ないし複数人で舞う。
※特別な場合を除き、紋付袴で演じられる。

「立合」たちあひ
流儀や芸風の異なる演者が競演すること。
能楽創成期より行われ、芸を競い合い磨く機会であった。

「相舞」あいまい
二人、ときには三人以上が揃って同じ舞を舞うこと。
基本的に終始同じ動き、呼吸にて舞う為、
技術的には難しくなるが、華やかさが強調され見応えがある。

「悪坊」あくぼう

旅の僧(アド)は、酒癖が悪く乱暴者の悪坊(シテ)と出会い、無理やり道連れにされ、宿屋へ連れ込まれてしまう。悪坊は僧を脅して喜ぶが、そのうちすっかり酔いが回り寝入ってしまう。宿屋の主人(アド)から、悪坊の素行の悪さを聞いた僧は、急いで立ち去ろうとするが、なぶられた腹いせにと悪坊の小袖や長刀を取り上げ、代わりに自分の衣や傘を残して逃げ去る。目が覚めて自分の姿に驚いた悪坊がとった行動は...

「邯鄲」かんだん

中国・蜀の国の盧生(シテ)は、人生の哲理に悩み、楚國の羊飛山に住む聖僧を尋ねる途中、邯鄲の里で宿をとる。宿の女主人(アド)の勧めで、「邯鄲の枕」という不思議な枕を借り仮寝の床につくと、勅使(ワキ)が現れ盧生を起し、楚國の王位を譲ると伝える。盧生は興に乗って光り輝く王宮へ案内され、栄華の限りを尽くす。やがて即位五十年になることを告げられて酒宴の場となり、仙薬が奉られ、舞童(子方)も舞を舞い、盧生も自ら舞い興じる。かくして時は過ぎ、数々の栄華が消え失せると見るに、宿の女主人に起こされ目を覚ます。茫然と起き上がった盧生は、五十年の栄華も、粟飯が炊けるまでの一睡の夢だと人生を悟り、枕に感謝しつつ帰ってゆいたのであった。



「邯鄲」(撮影 辻井清一郎)

夜の部 相舞競演

(開演 十九時)

解説 佐久間二郎

仕舞 (宝生流)

大友 順

仕舞 (喜多流)

内田 成信

仕舞 (金剛流)

豊嶋 晃嗣

仕舞 (金春流)

辻井 八郎

狂言 (和泉流)

野村又三郎

「夜の部」

「二人静」ふたりしずか

吉野の野辺で若菜を摘む女の前に、自分の供養を望む女が現れる。勝手神社の神職にこのことを告げる菜摘女に先程の女の霊がのりつり、静御前の霊であると名乗る。神社の宝蔵に納められていた舞装束を身につけた菜摘女が舞い始めると、同じ装束の静の霊も現れ、昔語りなどをしつつ二人で舞を舞い、後の回向を頼むのであった。

「小袖曾我」こそぞそが

源頼朝の富士の巻狩に参加して、父の敵工藤祐経を討とうとする十郎祐成は、勤当の身の五郎時致を伴い、母のもとを訪れる。頑に勤当を解かない母に、兄弟は涙ながらに仇討ちのことを説明し、遂に母の心も和らぎ勤当を許される。門出を祝う酒宴が設けられ、兄弟は出陣の舞を勇壮に舞い、名残を惜しみつつ出立する。

「茶壺」ちやつぱ

主人の命令で梅屋で茶を求めて帰る途中、酒に酔って街道で眠り込んでしまった中国方の男(アド)のもとへ、スッパ(詐欺師/シテ)が現れる。スッパは、男が背負っている茶壺を自分のものにして、二計を案じ、互いに自分のものだど争いになる。そこへ目代(代官/アド)が仲裁に入り事情を尋ねるものの、スッパが男の説明を盗み聞きしながら説明するので判断がつけられない。ついには相舞で二人同時に誑い無きさせるも、今度もスッパが盗み見て真似てしまう。困った目代の意外な判断とは...

「大瓶狸々」たいへいしようじょう

観世流のみにある現行曲。中国・揚子の市で酒を売る高風(ワキ)のもとへ度々訪れる童子(前シテ)は、高風の孝行をたたえて姿を消す。潯陽江のほとり、高風が待っていると、狸々(後シテ)が仲間を伴って現れ、大瓶から酒を汲んで飲み、揃って舞を舞いながら千秋万歳の御代を奏ぐ。



「大瓶狸々」(撮影 三上文規)

大瓶狸々

大鼓 原岡 一之
小鼓 幸 正昭
太鼓 麦谷 暁夫
一噌 幸弘

シテ 梅若 紀彰

シテ方 観世流
シテ方 金春流
シテ方 宝生流
シテ方 喜多流

後見 小田切康陽
武田 宗和

地謡 金子 聡哉
佐久間二郎 奥川 恒治
新江 和人 藤波 重彦
坂井 音隆 伊藤 嘉章

(終了予定 二十時十分)



シテ方 観世流
梅若 紀彰
1956年生



シテ方 金春流
野村又三郎
1971年生



シテ方 宝生流
井上 貴覚
1971年生



シテ方 喜多流
辻井 八郎
1966年生



シテ方 金剛流
豊嶋 晃嗣
1973年生



シテ方 金剛流
廣田 泰能
1963年生



シテ方 喜多流
金子敬一郎
1968年生



シテ方 喜多流
内田 成信
1968年生



シテ方 宝生流
渡邊 茂人
1972年生



シテ方 宝生流
大友 順
1971年生



シテ方 観世流
野村 四郎
1936年生



シテ方 喜多流
塩津 哲生
1945年生



シテ方 金剛流
廣田 幸稔
1957年生



シテ方 大蔵流
山本泰太郎
1971年生



シテ方 金春流
山井 綱雄
1973年生



シテ方 宝生流
高橋 憲正
1976年生

邯鄲

子方 山井 綱大

シテ 山井 綱雄

ワキ 館田 善博

ワキツレ 大日方 寛

ワキツレ 野口 能弘

ワキツレ 御厨 誠吾

ワキツレ 則久 英志

ワキツレ 森 常太郎

アイ 野村 太郎

山中 一馬

後見 本田 光洋

本田 芳樹

伊藤 真也

本田 昌樹

中村 昌弘

北山 春彦

澤田 宏司

高橋 雄資

東川 憲正

塩津 圭介

中村 邦生

香川 靖嗣

大島 輝久

田村 修

廣田 幸稔

種田 道一

工藤 寛

本田 芳樹

金春 憲和

山井 綱雄

本田 由樹

井上 松次郎

奥津 健太郎

後見 野口 隆行

伊藤 嘉章

藤波 重彦

新江 和人

佐久間二郎 奥川 恒治

金子 聡哉 山崎 正道

「夜の部」

「悪坊」あくぼう

旅の僧(アド)は、酒癖が悪く乱暴者の悪坊(シテ)と出会い、無理やり道連れにされ、宿屋へ連れ込まれてしまう。悪坊は僧を脅して喜ぶが、そのうちすっかり酔いが回り寝入ってしまう。宿屋の主人(アド)から、悪坊の素行の悪さを聞いた僧は、急いで立ち去ろうとするが、なぶられた腹いせにと悪坊の小袖や長刀を取り上げ、代わりに自分の衣や傘を残して逃げ去る。目が覚めて自分の姿に驚いた悪坊がとった行動は...



シテ方 宝生流
渡邊 茂人
1972年生



シテ方 宝生流
大友 順
1971年生



シテ方 観世流
野村 四郎
1936年生



シテ方 喜多流
塩津 哲生
1945年生



シテ方 金剛流
廣田 幸稔
1957年生



シテ方 大蔵流
山本泰太郎
1971年生



シテ方 金春流
山井 綱雄
1973年生



シテ方 宝生流
高橋 憲正
1976年生